

# ときめき人 Tokimeki bito



## 先人が育んだ 心安らぐ茶の心 暮らしの中に 和やかさを

迫町・錦東  
**山田 征子さん**

やまだ・せいこ  
1943年生まれ 血液型/O型

### Profile

迫町の表千家茶道同好会代表。自宅と迫公民館(毎月第1、第3木曜日、午前10時~11時30分)で茶道教室を開催している。教室に興味がある人は、山田さんまでご連絡を。  
☎0220(22)4172



幻想的な雰囲気の中、仙台ロイヤルパークホテルで開かれた「月待ち野点」

月を待ちながら抹茶と和菓子でもてなす「月待ち野点」は10月5、6の両日、仙台ロイヤルパークホテルで開かれ、来場者は風流な傘やススキなどが飾られた席で、秋の夜長を楽しんだ。同ホテルは、登米市とJAみやぎ登米の3者で協定を結び、登米産食材の利用促進と市のPRに協力。野点は初めての取り組みで、満月が夜空に高く上がるまでの時間を、茶を楽しみながら過ごしてもらおうと企画された。

この席で点前をしたのは、山田さんが代表を務める迫町の表千家茶道同好会員と文化・スポーツクラブはさま茶道教室の参加者の皆さん。山田さんは茶道を広めながら、自身も深く学んでいこうと同好会を立ち上げ、自宅と迫公民館で教室を開いてい

る。茶道の所作には、客人や大切な人への気遣い、心配りが込められており、「おもてなし」の語源は、茶の湯から始まったとのいわれもある。

「作法には、生活の中で必要な基本的な動作が全て詰まっています。相手へのおもてなしの心を基本に、時代に応じた茶の楽しみ方があっていいと思います」。山田さんは「茶道は、年齢、性別を問いません。誰もがいつからでも始めることができます。難しいものと思わず気軽に参加し、日本古来のお茶を楽しんでほしい」とほほ笑む。

釜から立ち上がる湯気、お茶をたてる茶筌の音、何気ない一つ一つに心が安らぐ。茶の心は、先人たちの英知に生まれ、現代に伝わってきた。山田さんは、肩肘張ることなく、自然体で茶の心を伝えていく。

## 編集後記

▼師も走り回るほど忙しい12月。あつという間に1年が過ぎようとしている。いつものごとく、ばたばたと過ごしてきた。年頭に「伝わる広報」を目標に掲げた。達成には、まだまだ距離が。残り1カ月、少しでも近づけるよう努力。(及川)

▼表紙の佐沼秋のフリーマーケットは、多くの人でにぎわいました。市外からの出店者に話を聞くと、「イベントは出店者として参加している。でも、自分もほかの店を見たり、食べるのも楽しみ」と話していました。来場者と出店者が楽しめることが、東北最大を誇るフリーマーケットにつながっているんですね。(千葉)

▼大型の台風が進路を変え、ほっとしていたら暦の上ではもう立冬。田んぼの稲刈りも終わり、土が顔を出しました。山の景色も赤や黄色に彩られ、庭の木にはたくさん柿。朝晩の気温も、一気に肌寒くなってきました。皆さん体調管理に気をつけて、温かくしてお過ごしください。(伊藤)



モバイルとめ (携帯電話版ホームページ) <http://www.city.tome.miyagi.jp/m/>



登米市メール配信サービス (防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。) <https://mail.cous.jp/tomecity/>